

若者視点で「矢掛と児島」二つのまちづくりを考えるラボ

ラボの課題

織維のまち「倉敷市児島」と歴史や農業資源に恵まれた「矢掛町」二つの特徴の違う地域で、実現可能なまちづくりのアイデアを創出すること

連携先

「矢掛」矢掛町、水車の里フルーツトピア 他

「児島」倉敷市、児島産業振興センター、下津井シービレッジ 他

矢掛町への提案

活動内容

フィールドワーク

SWOT分析

アンケート実施



提案①

芋堀り＆焼き芋体験

農業の6次産業化が途上という課題に着目

芋堀り体験と焚き火を使った焼き芋体験



提案②

グランピング

認知拡大、誘客を目的

宿場町として機能するようになる



提案③

夜カフェ

若者の人口流出



総括

私たちは、岡山県矢掛町が抱える課題に対して、若者視点で「芋堀り＆焼き芋体験」「グランピング」「夜カフェ」の3つの提案を行いました。これら3つの取り組みを通じて、地域資源の新たな価値を引き出し、観光振興と定住促進、さらには地域活性化につなげていくことを目指しました。

担当教員：鷲見哲男、藤原美佳、張善会、

学生氏名：石田、藤元、飯山、今給黎、宮原、丸林、宮崎、渡部

若者視点で「矢掛と児島」二つのまちづくりを考えるラボ

ラボの課題

- ・繊維のまち「倉敷市児島」で実現可能なまちづくりのアイデアを創出する
- ・市民生活、地域資源、地域内交通、産業振興を考慮しながらの提案

連携先

児島倉敷市役所、児島産業振興センター、下津井シービレッジ

秋学期の活動報告

- ①10月18日(金)風の道と下津井を中心に二回目のフィールドワークを実施
- ②フィールドワークで得たことを基に新しいアイデアや既存のアイデアの改善
- ③2月7日(金)学内発表
- ④2月10日(月)学外発表 (児島産業振興センター)

・風の道



・下津井



・学外発表



これまでの気付き・まとめ

二回目のフィールドワークを通して、風の道と下津井を中心に活動を行っていきました。その後、風の道と下津井に関するアイデアを創出し、学内と学外の児島で発表をしていきました。学外での発表では、魚釣り体験のアイデアが好評でした。

児島での活動を一通り終えて、児島に観光客など人を呼ぶためには児島の魅力を様々な場所で知ってもらうことが必要だと考えました。

担当教員：鷲見哲男、藤原美佳、張 善会

学生氏名：清岡・金子・櫻木・小林・関元・小崎・長谷川・園

若者視点で「矢掛と児島」2つのまちづくりを考えるラボ児島bチーム

お世話になった連携先団体など

・倉敷市役所まちづくり推進課・児島産業振興センター



ラボで解決に取り組んだ課題

倉敷市立短大の児島駅前移転は児島のまちづくり計画において、繊維産業を中心に今ある既存資源を強みとして十分に活かし、令和9年まで継続できるイメージだけでは科学的なアイデアの提案。

活動のあらましについて

【アンケート調査の作成・実施】

倉敷短期大学が児島駅前に移転することについて、短期大学生に向けて住居・食・余暇・アルバイトを中心にアンケートを作成を行った。

出来れば児島で就職したい。

64件の回答



【アンケート結果を分析し、まちづくりのアイデアを考案】

アンケート結果を分析し、まちづくりに繋がるアイデアを4つ考案した。

1. アルバイトマッチング

職業相談やアルバイトの紹介し、まちを知るきっかけづくり

2. 短大マルシェの開催

学生が主体となり、児島の特産品を販売

3. ランチ企画

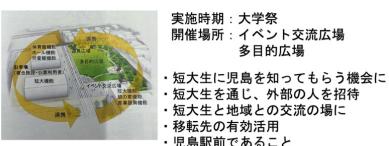
学生が飲食店にお食事券を渡すとサービスを受けることが出来るもの

4. 入学祝い

鷺羽山ハイランド短大生招待企画・ジーンズストリート短大生お買い物特典



短大マルシェ開催



【児島振興センターでの発表】

児島振興センターの方や倉敷市役所職員の方など約20名がお越しくださり、各チームの提案をお聞きいただいた。

アドバイスや質問を頂き、より提案を深めることができた

1年間の活動の総括・成果について

倉敷市児島の強みを活かしつつ短大生が楽しめる企画を考案するというテーマにチャレンジし、多くの外部団体と連携し、企画の困難さを体験しながら、最終発表を成功させることができた。